

てくたく 深沢・駒沢・桜新町

過去数度にわたりご紹介している「世田谷ふるさとめぐり てくたくぶっく 用賀・馬事公苑コース、兵庫島コース」ですが、今回はお隣の地区、深沢・駒沢・桜新町を巡る「駒沢公園コース」をご紹介。こちらもまた「へえ〜、ほお〜」の連続です。

深沢庚申様 深沢 2-8



ここには4基の庚申塔が並んで立っています。右端が1715年、中央が1760年、左が1777年につくられました。

共同洗い場 深沢 1-28



ここには昭和の初めまで共同洗い場がありました。24m四方の大きな洗い場で、農家が野菜などを洗っていました。

阿弥陀如来 深沢 1-40



阿弥陀三尊来迎画像板碑が祀られています。室町時代の作と言われ、江戸時代には子供の百日咳の平癒に信仰されていました。

兎々呂城 (現都立園芸高校)



北条氏の家臣、南条右京亮重長が戦での功勞により賜り作った城の跡で、等々力の地名の由来とも言われています。

深沢神社 深沢 5-11



小田原北条氏の家臣、小谷岡重頼が1564年に伊豆の三島神社の御霊分けをしたのが始まりと言われています。

三島の洗い場 深沢 5-11



今の三島幼稚園のところに昭和39年まで池があり、三つの島があったことから三島池と名付けられ、洗い場でもありました。

深沢学校発祥の地 深沢 4-35



明治12年7月、現在は深沢郵便局の場所に深沢小学校が開校しました。教室の天井は竹で編んだアンペラだったそうです。

中村庚申様・中村八幡神社 深沢 4-31



かのえさる(庚申)の青面金剛を祀っています。神社は明治初年深沢神社に合祀されましたが昭和13年に現在地に分離独立。

深沢不動 深沢 6-1



成田不動のみたまわけとして明治31年に祀られました。多摩川八十八箇所第44番の不動堂です。

* てくたく刀サッチ#33 「総量寺」用賀 4-20 *

このお寺は、用賀の観音様という名前でも呼ばれることもありますが、今から400年位前、光蓮社明譽寿広和尚が開山したお寺です。ご本尊は阿弥陀様で、本堂脇の観音堂には木彫りの十一面観世音菩薩が安置されています。この観音様は用賀の住人である高橋六右衛門尉直住という人が夢のお告げにより、このお寺に納めたとの言い伝えが残っており、用賀村の人たちはもとより、遠く阿佐ヶ谷、高円寺、調布の方の人々からも信仰されていたとのこと。お寺の境内には木が多く、本堂前の大銀杏は樹齢百年を超え、遠くから眺めることができます。この風景は、昭和59年選定の世田谷百景のひとつに選ばれています。



医王寺 深沢 6-14



1625年に谷岡家5代、又左衛門重久が亡き父の霊を弔って創建したお寺で、御本尊は大日如来。昭和38年に再建。

呑川 深沢 8-1



新町あたりの品川用水からの漏れ水と深沢周辺の湧水の池から流れ出る水が合流して東京湾まで続く全長14.4kmの川です。

修道院の湧き水 深沢 8-13



ここは世田谷区の特別保護区の一つで、武蔵野の原風景ともいべき景観が大切に守られています。溢れた水は呑川へ続きます。

長谷川町子美術館 桜新町 1-30



「サザエさん」でおなじみの長谷川町子さん（平成4年没）が、昭和60年11月に開いた美術館です。住宅街の中に建つレンガ色の洒落た建物の中には、長谷川さんの作品原画や美術コレクション、陶人形など愉快で懐かしい展示の数々が楽しめます。また付近には「サザエさん通り」「サザエさん公園」もあり、作品とともに地域の方々に愛されています。



信託住宅発祥地 桜新町 1-30



大正の初め信託会社による分譲住宅が売り出開始。新しい街のシンボルとして桜が植えられ、そこから桜新町の地名が誕生。

神習教本祠 新町 3-21



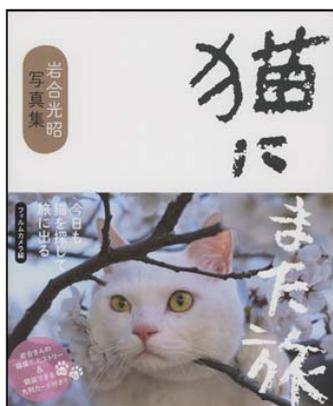
教派神道神習教の総本山。明治時代初めに吉村正乗によって神田に建てられ、ご神託により関東大震災の直前、この地に移されました。祭神は、8柱の神様。境内には「えんむすびの木」があり、美しく咲き誇る桜の木に願いをかける人が多数訪れます。



ご自宅まで配達します！ 2016年 アサッチのオススメ本！ 2月



それぞれ行け!! アサッチ
来月は更なる名所をご紹介します!



岩合光昭 写真集 「猫にまた旅」
定価：1620円（税込）

岩合さんが選んだその年々のベストショットがたっぷりつまった、2001年からつづくアサヒカメラの好評付録・岩合さんの猫カレンダーが待望の写真集になりました！アサヒカメラの表紙を飾るやいなや、編集部にお問い合わせが殺到した猫とパグ犬のツーショットをはじめ、伝説的な写真から秘蔵の一枚まで岩合さんが撮る猫の魅力たっぷり。今回は、フィルムカメラで撮影された99点